

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名:レーザーエネルギー学研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 量子研及びエコールポリテクニークと協定を締結したことに加え、エコールポリテクニークキャンパス内に連携オフィスを設置し、連携を強化していることが評価できる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 単年度 20 億円の大規模プロジェクトについて、本学の責任部局として産業界と連携した研究開発を開始したことや、放射光とレーザーの融合領域創出を志向した勉強会を学生や企業研究者を対象に開始するなど、産学連携を着実に実施していることが評価できる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。